全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

http://www.shijuku.net

第27号（平成21年7月）

スパイクの　音涼しけり　村球場

副理事長　梶原　賢治

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局　石川　維雪
〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷5-32-31　学燈塾内
TEL:03-6680-6542　FAX:03-6368-5489
Mail:center-office@shijuku.net

理 事 長　鈴木　正之
℡03-5743-7458
広報部長　大住　明敬
℡048－957-8608

TOPICS

私塾ネット四国エリア研修会開催

日時：平成21年5月31日 午前11時0～午後9時
場所：広島県福山市　若竹塾

第1部　研修会Ⅰ　午前11:00～12:00

今回から私塾ネット四国の新メンバーになっていただくことになりました、パスカル数理ゼミの守安先生の教室を見学させていただきました。岡山県倉敷市の駅前校を拠点に３教室を運営されています。駅前校ではSEGシステムによる大変高度な数学のライブ授業と、代ゼミサテライン予備校を運営されています。SEGの内容は、公立の準拠教科書とは似ても似つかぬ内容で、中学１年生にして三平方の定理（中３）、チェバ・メネラウスの定理（高校数学A）なども学ぶそうです。オリジナルテキストは、数学的思考の工夫が随所に見られました。講師の先生は、医大生が多く、相当の予習をして授業に入られるとのことです。遠方からでも、多くの生徒さんが１ランク上の数学を求めて通われているそうです。

第2部　私塾ネット四国総会　午後2:00～2:40

先般行われました、役員会での案件通り承認いただきました。

（１）支部長挨拶（２）平成２０年度活動報告書（３）平成２０年度決算報告および監査報告（４）平成２１年度活動計画（５）平成２１年度予算（６）新入会員３名の紹介　（７）その他

第3部　研修会Ⅱ　午後3:00～5:30

エリア代表寺嶋先生の挨拶で始まり、センター理事長鈴木先生、全国学習塾協会副会長楠山先生と続き、ご出席会員の紹介・起立と続きました。

(新生若竹塾を語る・・・高橋　博　若竹塾塾長)

高橋先生の、素朴なお人柄と、新生若竹塾への誠実な思いが伝わってくる大変すばらしいご講演でした。ご参加頂いた会員のメモを取る姿も真剣で、随所に収穫があったのではないでしょうか。その中でも「塾長と講師の個別面談」についてとりあげてみましょう。

講師の方への質問は以下の１０項目です。（1)なぜ若竹に就職したのですか。（2)就職前の塾業界のイメージは。（3）入社後の若竹のイメージは。（4）塾をやってみて…良かったこと・つらかったこと・これから必要と思われること・今あるもので不必要なもの（5）仕事に何を望みますか…給与・役職・仕事・対人関係…以上の４つを持点１００点として振り分けてください。（6）現在の満足度…７０点を平均として１０点刻みで答えてください。（7）不満（8）要望（9）教えたい学年・クラス（１０）講師以外でどのような分野で活躍できると思いますか。というようなものです。（5）の答えでは何に軸足を置いて仕事をとらえているのか。（１０）では今後の仕事の振り分けの参考にされるとのことです。いかがですか、皆様も自塾の職員の皆様と個別面談をなさってみては…。分かっているつもりでも、判っていないものかもしれませんね。

お人柄がにじみでた名講演で皆納得、新生若竹塾を語る、高橋博先生

それではもう１つ、「伝達事項の徹底」について。職員１人に１台のパソコンとパスワードを支給し、サーバにアクセスできるようにしている。サーバ内では、TUF形式で入試問題・講師の授業をビデオ収録したもの・授業中に配布したプリントなどなどが収められているそうです。

（先輩塾長から一言）

若竹塾　佐藤先生・ステップ　龍井先生・芸城学院　城先生ありがとうございました。その中から１つ、龍井先生より「危機感」というお話の中で、年間１０回の保護者アンケートを実施されているとのことでした。

ご回答下さった保護者様からのメッセージに誠実に対応していくことによって、自塾のファンが増えるんですとのこと・・・。但し、相当量の要望やクレームが予測される状態でのアンケート実施は、対応ができなければ、逆効果ですとのことでした。

(若竹塾見学)

新生若竹の教室は、若竹発祥の教室から徒歩１分。ホテルの３・４階

龍井先生(エリア関東　ステップ・神奈川)のお話に会場は水をうったよう

を借りている。清潔感のあるとてもきれいな教室でした。案内してくださるスタッフの方々も感じのいい方ばかりでした。高橋塾長をはじめ佐藤先生のお子様３名などなどのご活躍で、佐藤代表も将来が楽しみなことでしょう。

（懇親会）　午後6:00～9:00

地元広島での開催とあっていっそう和やかに挨拶をされる山口名誉会長

やって参りました。懇親会。この時間の貴重さは、言うまでもなく個人面談。雑談の中にこそ、それぞれの塾経営者としての理念を垣間見ることが出来るのです。わずかにアルコールが入ればなおのこと、塾長ひとりひとりの強みも、弱みも、見えてきます。瀬戸の海の幸満載のディナーに舌鼓を打てばさらに口は軽く、言葉は弾んでいました。

席上、仲野先生のご提案で「ジュニアの会」が結成されることになりました。「２世の悩みは２世にしか分からん。」を当面のキャッチフレーズにして

東西美男比べ？？仲野先生（右・関東代表）と加納先生（左・広島　芸城学院予備校）

交流を図っていくとのことです。全国の２世の皆様、どしどしご加入下さいね。詳細はセンター仲野先生までお問い合わせ下さい。それから糖尿病が気になる先生方による「ヘモグロビンＡ１Ｃ値を下げる会」も結成されました。皆様、ご自愛くださいませ。

最後にわざわざ東京から参加していただいた皆様、ご準備いただいた塾長、先生方本当にありがとうございました。

報告：私塾ネット四国　小野昭（小野塾）

私塾ネット四国研修大会・番外編

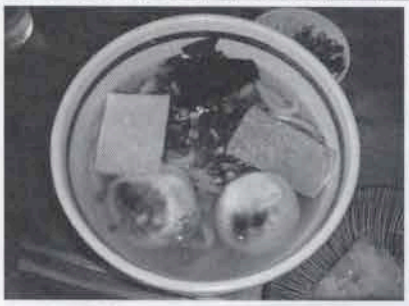
湯口塾を見学させていただいて

私塾ネット関東総務部長　渡辺浩(渡辺塾)

今回の広報紙では、私塾ネット四国（倉敷＆福山）の研修内容につきましては私以外にも他の先生方が投稿されるということなので、私は前ノリさせていただいた湯口塾さんでの『珍道中』について書かせていただきたいと思います。

５月３１日（日）に私塾ネット四国の研修会が行われるということで、私と日米文化学院の武村浩靖先生と慶応受験会の菅谷友豊香先生と渡辺塾の職員１名の計４名が前日の３０日に『湯口塾』を見学させていただきました。私自身湯口塾さんを見学させていただくのは３回目で、毎回塾運営の仕方や授業内容などを勉強させていただいております。朝、新幹線で香川を目指しましたが、あの時は新型インフルエンザが神戸を中心に関西で蔓延し始めていて、東京の塾でも対応に追われていた時期でした。ところが、意外にも新幹線の中や神戸駅でマスクをしている人はほとんどおらず、恥ずかしいことに、我々４名だけが京都駅からしっかりとマスクを着用しておりました。この辺でも関東と関西の対応は違うのかなと感じつつ、岡山駅に到着しました。岡山駅からは在来線に乗り換え、またこれが瀬戸内海をおよそ１０分程度で渡る絶景の電車で（是非皆様も一度お乗りになってください）、菅谷先生は個人的にも大阪より西にいらっしゃったことがないそうで、一際興奮されていらっしゃいました。

観音寺駅に到着するや否や、湯口先生行きつけの讃岐うどん屋さんに連れて行ってくださいました。このうどん屋さんの名物は「餡雑煮うどん」。名前の通り、うどんの中に焼いた大福が入っているのです。（写真参照）今回初挑戦の３名も意味深な顔を浮かべながら香川の昼食を堪能しました。



関東人ビックリ！名物餡雑煮うどん！

昼食後は湯口塾の観音寺校から丸亀校まで見学させていただきました。私個人的な意見で恐縮ですが、私が一番参考になったのはやはり教室展開のされ方です。一度湯口塾さんに行かれたことがある方は知っていらっしゃると思いますが、本部校を中心に５分おきぐらいに教室があり、職員校舎から教室ごとに先生方が教室に向かうというやり方をされているのです。恥ずかしながら、将来自塾もこのやり方をまねさせていただこうと思っております。

校舎見学後、夕食まで湯口先生にご馳走になってしまい、恐縮する中、なにやら湯口先生と菅谷先生お２人がやけに盛り上がっているのです。何かと思ったら、お互い抱えていらっしゃる持病が同じで、処方されている同じ薬を見せ合いっこしていらっしゃいました。（写真参照）

同病相思相愛の図

くれぐれもお体はお大事になさってくださいね。また、今回も本当にお世話になりました。ありがとうございました。

私塾ネット四国　秋の研修会（塾長及び講師対象）のご案内

日時　10月4日（日）ＡＭ10：30～ＰＭ4：30
場所　サンメッセ高松
香川県高松市林町２２１７－１
サンメッセ香川２Ｆ　中会議室
会費　お一人　2000円（お弁当代含みます）
基調講演　『コーチィングに関しての研究発表』
牧秀幸　啓真館

食事及び休憩

第一研修　『塾人として、運気を高めるために』
湯口兼司　湯口塾
第二研修　『私塾実践同巧会
算数、数学指導法』
十亀幸雄　十亀塾
第三研修　『塾、未来を見据えて』
原田真一　啓真館

私塾ネット四国、秋の研修会は上記の内容にて塾長、及び職員を対象に実施いたします。今回はネットの会員塾だけでなく、四国エリアの他の塾にも参加を呼びかけて研修を行ないます。また今年も良い仲間が増えると良いですね。

申し込み先
私塾ネット四国　代表　寺嶋謙次(学習院セミナー)
香川県善通寺市上吉田町3丁目9－21
電話　0877－63－4639
FAX　0877－63－4639

理事長活動日誌

理事長　鈴木正之

佐藤渉外部長の取りまとめている『教育ネット要覧』（全日本学習塾連絡会議刊）を見ると、任意団体の中では私塾ネットの会員数が一番多い。許認可団体を含めても、（社）全国学習塾協会、全国学習塾協同組合に次ぐ会員数となっている。では、大きな団体に課せられたものは何だろうか？あくまでも個人的な考えだが、小さな事を大切にすることであると考える。私が大切にしたいことは、「感謝」の気持ちと、「優しさ」である。特に１人１人、１塾１塾を大切にすること。大きな団体だからこそ、優しくなる。そして会員の皆さんの家族と職員の皆さんへの感謝の気持ちを持ち続けたいと考えている。

５月、６月は、とっても良い私塾ネットの会に参加させていただいた。関東の入情研、職員の皆さんの一生懸命さが伝わってきた。四国の研修会は「人」とのつながりを実感させられたものだった。中部の湯けむりの会、心も体も裸になれる会。すばらしいですね。とは言え、私塾ネットの活動の全てを会員に納得していただいているとは思ってはいない。全会員が共通して願っている事は、教育を良くすること、子供達の未来の夢の実現と子供達の幸せであると信じ、発展途上である私塾ネットは、改善と改革を繰り返していかなければならない。

私塾ネット関東
入情研〔５月８日〕

職員が中心となって集まっている入情研。今まで参加したことが無かったこともあり、様子を見に行こうと思っていました。私塾ネットの全国研修大会は、若手職員たちの活躍なくして成功は無かったと思います。そこで、今回はそのお礼をしたいと言うこともあり、顔を出させていただきました。当日は、副理事長の梶原先生、関東代表の仲野先生、同総務部長の渡辺先生以外の約１０名は全て職員です。中心に運営しているのも職員です。日頃悩んでいること、考えていることについて意見を出し合います。

経験者やその道に長けている方の話を聞くこと、他塾や他業種を参考にしていくこと、つまり人の体験や考えから学ぶことも、ひとつの研修のあり方ですが、この入情研のように自分の体験から学ぶことも重要であると思います。意見を求められてお話しはさせていただきましたが、言い過ぎたかとチョット反省しています。これからも「自分たちで考えて実行することで学ぶ」入情研を大いに期待しています。岩瀬先生、三井先生、飛沢先生を始めみなさんを応援していきたいです。

私塾ネット四国
新年度総会及び研修会〔５月31日、６月１日〕

とっても良い２日間でした。何が？と言われたら、「ぜんぶ」と答えたくなります。行きの新幹線、研修会の内容、若竹塾の見学、懇親会、カラオケ、ラーメン屋さん、研修部屋、深夜の研修会、福山城、帰りの新幹線。時間にしてみると滞在時間が２０時間ほどではありますが、多くの方のお話しをお聞きすることができたことが良かったです。若竹塾代表の佐藤先生の、「人を育てるには、任せること」、「自分は邪魔にならないようにしている」、「勇気を出して、信頼して任せる」というお言葉は、印象に残るお話しの１つです。湯口先生、寺嶋先生、高橋先生、たいへんお世話になりました。

私塾ネット中部
湯けむりの会〔６月28日、29日〕

次の日の２９日の昼過ぎに帰り授業をするという慌ただしさがあるが、あちらではのんびりさせてもらいました。三松先生が京都の寺院でゆっくりとした、ひとときを過ごす。そして、奥さんと「贅沢な時間だね」と話すということを聞き、自分はそんな思いをしばらくしたことがないことに気づきました。でも、今回は、ぼ～っとする時間があり、気の知れた先生方との時間の共有は気分転換になりました。松本先生、原先生、三松先生ありがとうございました。

左より原、鈴木、松本、三松の四先生。湯けむりの会の様子は12ページの三松さんのレポートに詳しい。

塾主催イベント研究　その① 埼玉発 J-グループ「J-フェスタ」

塾は勉強だけの場では」ない。元気な塾は総じてさまざまなイベントを試み、講師生徒がともに盛り上がる機会が多いようだ。編集部では会員の塾に「こんなイベントやってます」と手をあげていただいて、そのご紹介に貴重な1ページを提供することとしました。第一回はまずは「お手盛り」で、関東代表仲野先生と総務部長渡辺先生の共同イベントを紹介しましょう。次号以降自薦他薦のお申し出をお待ちします。（編集部）

５月１７日（日）に埼玉県越谷市の松沢幼稚園さんをお借りして、ナカジュクと渡辺塾が合同で年に１度の恒例イベント「J－フェスタ」を行いました。（ナカジュクと渡辺塾では「J－グループ」と称して「J－フェスタ」の他に毎年３月に行われる「スキー教室」も合同で行っております。）「J－フェスタ」では各塾の先生たちがミニゲームや模擬店を担当します。生徒たちはミニゲームで遊び、景品交換チケットを集め、集めたチケットに応じて景品と交換できる仕組みになっています。このイベントはスタートから１１年目を迎えました。

イベント当日の朝から強い雨が降っており、中止にするか判断に迷うところでしたが、自称晴れ男の仲野先生は「実施する」と決断しました。するとイベント開始２時間前になると不思議と雨があがってしまいました。これには仲野先生自身もびっくりしていました。

開始時刻１１時になると生徒たちが集まりいよいよイベントの始まりです。模擬店の焼きそばやフランクフルトの匂いや生徒たちの声が園内に広がり始めます。私塾ネット関東総務部長の渡辺先生は焼きそばを担当しました。さらに私塾ネット関東代表仲野先生はガーリックチャーハンを担当しました。仲野先生はご自宅から秘伝のタレまで持参する力の入れようでした。さらに昨年から、イベントスタッフの発案により食事で使う割り箸や紙皿を廃止し、エコ箸とプラスチック容器を採用しました。環境活動にも取り組み始めました。また、ミニゲームを担当する先生たちは少しでも生徒たちに喜んでもらおうと毎年工夫を凝らして出店しています。人気があるミニゲームは、「パチンコ」や「ストラックアウト」です。その中でも一番人気は「１円玉落とし」のミニゲームでした。生徒に理由を聞いたところ

「一番チケットが取りやすい」と言っていました。人気の秘密は景品交換チケットの取りやすさにあったようです。

イベントのクライマックスは大抽選会です。１等ディズニーリゾートペアチケット、２等は電子ピアノなどの豪華景品を用意しました。１等ディズニーリゾートペアチケットを当てたのはナカジュク板橋教室の生徒でした。

帰り際、生徒の一人がお母さんに「最後の抽選会は当たらなかったけど、すごく楽しかったよ。」と言っていた一言が印象的でした。この教室以外で見せる生徒たちの笑顔が「Ｊ－フェスタ」を支えているのかもしれません。

私塾ネット「Jrの会」にぎにぎしく発足！悩み多き二世塾人、この指とまれ。

5月31日、四国エリア研修会の懇親会の席上のこと、「そういえば、今回二代目が結構参加してるよね？」「そういえば、そうだね。渡辺先生でしょ、武村先生でしょ、湯口先生と佐藤先生のご子息（双子です）、あとは愛媛の愛真塾の佐々木先生もそうだ！」「この際だから舞台に上げて『Ｊｒの会』ってどう？」「それいいね！」いつもの私塾ネット理事長と関東代表の悪ノリ（！？）で急遽『Ｊｒの会』なるものが誕生しました。壇上に上がって挨拶したのはこの６人です。

「Jrの会プロフィール」

・名前　佐々木智英（ともひで）
・塾名　愛真塾
・年齢　42歳
・担当教科　数学
・趣味（特技）　音楽鑑賞
・好きな芸能人　小田和正さん
・Jrで良かった事
　学ぶ機会や出会いに恵まれていると思います。
・Jrで苦労したこと　自分流の確立。

・名前　佐藤　智保（ともやす）
・塾名　広島　若竹塾
・年齢　30歳
・担当教科　東進衛星予備校　校長
・趣味（特技）　ゴルフ
・好きな芸能人　イチロー、中田英寿
・Jrで良かった事
　より強く当事者意識をもち、業務に臨める。
・Jrで苦労したこと
　120%の努力をして初めて一人前に見られるので、そのあたりで気合いのコントロールが難しい。

・名前　佐藤　希輔（まれすけ）
・塾名　広島　若竹塾
・年齢　30歳
・担当教科　小学部（算数、国語、理科）
　中学部（数学、理科）
・趣味（特技）　サイクリング
・好きな芸能人
　お笑い芸人が全般的に好きです。
・Jrで良かった事
　去年、この業界に入ったばかりなので、正直まだJrで良かったという実感はありません。日々の業務でいっぱいいっぱいです。
・Jrで苦労したこと
　やはりプレッシャーは常に感じています。こ れから先、自分に期待されているだろう部分での能力と、今の自分の能力とのギャップに悔しさを覚える事多しです。でも、それがいい意味でモチベーションにつながっているということも事実です。

・名前　柳田（武村）浩靖（ひろやす）
・塾名　日米文化学院
・年齢　昭和46年12月2日生れの満37歳
・担当教科　英語・国語・社会
・趣味（特技）　授業のネタ探し、子どもと戯れること
・好きな芸能人　かしゆか（Perfume）
・Jrで良かった事
　塾講師になろうと思ったときに既に自分の塾があったこと
・Jrで苦労したこと　苦労しないで今の地位にあること

・名前　渡辺　浩（ひろし）
・塾名　人間教育渡辺塾
・年齢　昭和46年9月25日生れの満37歳
・担当教科　国語
・趣味（特技）　ピアノ
・好きな芸能人　木村拓哉、北川景子
・Jrで良かった事
　比較的早い時期から今のお仕事（関東総務部）に就かせていただいてること
・Jrで苦労したこと
　私自身がまだ成長できていないので、父親のプレッシャーが父親（塾も含め）への反発という形でしか表せなかった、そういう時期が長くなってしまったこと

・名前　湯口　哲朗（てつお）
・塾名　湯口塾
・年齢　33歳
・担当教科　英語
・趣味　ライヴ鑑賞、食べること
・好きな芸能人　斉藤和義（歌手）
・Jrで良かった事＆Jrで苦労したこと
　（良くも悪くも）身元が割れていること

とにもかくにもこうして始まった『Ｊｒの会』。一応私（私塾ネット関東総務部長　渡辺塾　渡辺浩）が世話人ということになりました。もちろん、Ｊｒはこの６人だけではないので、二世の方、どんどん声を掛けさせていただきます。「ＪｒにはＪｒにしかわからない悩みがある」と思います。そんな共通の悩みをオヤジ抜きで語り合いましょう！年１回はどこかに集まって語り明かしたいですね！　（文責・渡辺）

注：Jrは鉄道のJRではございません。老婆心ながら。（編集部）

福山での懇親会場で「Jrの会」初めてのそろい踏み。左から渡辺、柳田、湯口（前）、佐々木そして佐藤兄弟。（敬称略）

私塾ネット関東・拡大研修会（協力：JAC千葉学習塾協同組合）

2009.6.21(日)　於　中央大学駿河台記念館
文責・柳田(武村)浩靖（千葉県・日米文化学院）

「若手講師の研修会を千葉の組合と一緒にやりましょうよ！」
というお話しを頂いたのは、４月の全国研修大会の折であった。私自身、今年度から千葉の組合活動に研修部の理事として参加することになっていたこともあり、二つ返事でお引き受けした。

そもそも、なぜ千葉の組合との合体研修という話しが持ち上がったのか？一つには千葉の私塾ネット会員の全てが、千葉の組合理事長も務められた谷村志厚先生のお誘いで名を連ねているＪＡＣ組合員であるということもある。しかし、最も大きな理由（と私が勝手に思っているの）は声を掛けて下さった関東総務部長・渡辺浩先生と私個人との浅からぬ因縁が発覚したことにある。このネタは最近方々で話しているのでご存知の方もいらっしゃると思うが、とにかくあり得ない位に共通点が多いのだ。

まず、①二人とも所謂「二世塾人」であり、②年齢が同じ（猪突猛進の昭和４６年生）、③名前の中に「浩」が付き、なんと④嫁の名前が一緒（「マイ」です。）、ついでに⑤嫁の歳も一緒（８歳差です。）、そして、⑥長男長女の歳も一緒（今年５歳になります。）・・・、あり得ない。正直、この事実を知ったときには運命を感じたものである。（本当か?）但し、プレイ・スポットは違います。(最近、二人とも「Perfume」好きということも発覚。)

ともあれ、そんな渡辺先生からのお誘いとあっては、「やらざるを得んだろう！」という状況であった。また、トレーナーも私塾ネット関東代表であり日本青少年育成協会認定教育コーチングトレーナーである仲野十和田先生と千葉の組合の研修部長を長年務められ、正にＪＡＣ最強トレーナーと言っても過言ではない佐久田昌知先生という素晴らしいお二人にお引き受け頂いた。このお二人に来て頂くのに失敗は許されない。そして・・・、告知は開催２週間前（遅すぎるだろ！）、しかも日程的に他団体の行事とも重なり、普段なら参加される先生方も来られないという情勢（あぁっ・・・）。そんな中、お集まり頂いた２９名の先生方には本当に頭の下がる思いであり、感謝の言葉しかない。ありがとうございました！

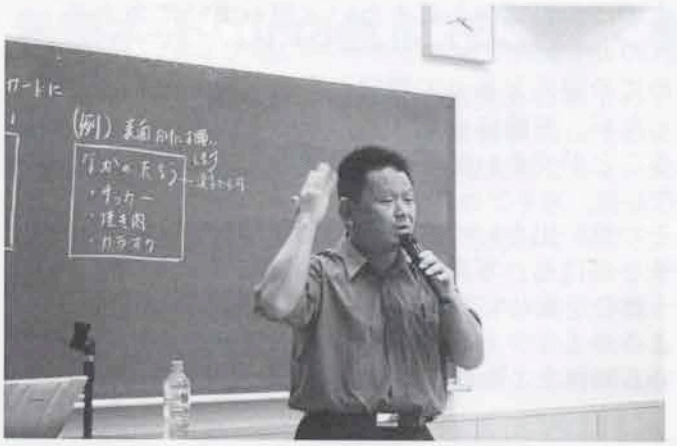
さて、前置きが長くなったが、研修会当日。朝から外出することをためらう位の豪雨。会場に到着すると会場の表示ミスがあったり、「相方」の体調絶不調が発覚したりと波乱を予感させる展開。まずは副理事長の長江勝秋先生からご挨拶を頂いて開幕。続いて進行役の渡辺・武村コンビにより今回の趣旨説明を行う。

研修会の趣旨説明を行う柳田（右）、渡辺"因縁コンビ"。

仲野関東代表自ら講師をつとめ率先垂範を実践。

そして、メインの第１弾・仲野先生の登場。テーマは、「コミュニケーションを通じて生徒が本来持っている能力を最大限伸ばし、最終的に自立ができる人間を育てる」ということで内容的にはコーチングのエッセンスが様々な角度からまとめられたものであった。（先生によると、「色んな研修会の良いとこどり！」とのことである。）それだけに、コーチングに触れたことがなかった若手講師にとっては、非常にわかり易かったと思う。個人的には、講演の最後に出てきた仲野先生の行動基準、「その行動がかっこいいかどうか？」というお話が興味深かった。僭越ながら私から見て、仲野先生は間違いなく「かっこよく」生きていらっしゃいます。

続いて「生徒と共に成長し生徒・保護者から感謝される講師になろう！」というテーマでの佐久

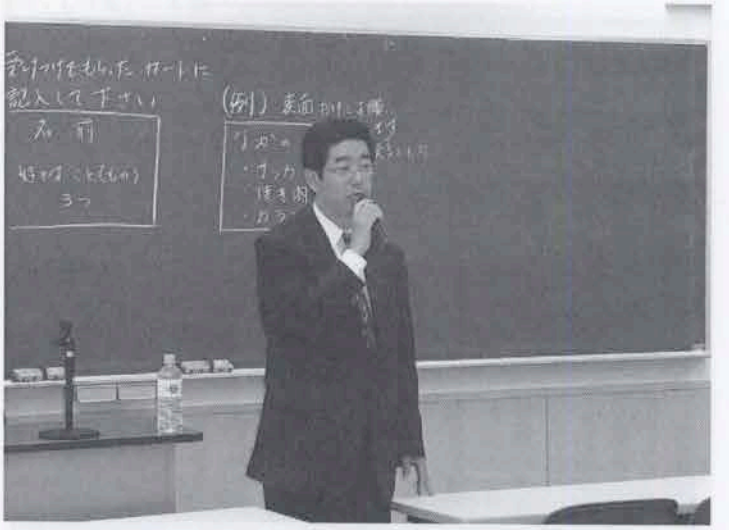


佐久田JAC副理事長の名講義はだれもが認めるところ。

田先生のお話。１０年前、佐久田先生の研修会に出席したことが今の塾運営の原点になっているという意味で個人的に先生のお話しにはかなりの思い入れがあった。そして、改めてお聞きして・・・、やはり原点に立ち返ることができた。それだけでも収穫であった。若手講師諸君は、今回のレジュメを時々見返すだけでも相当な刺激となること間違いなしであろう。自塾の若い連中を連れてきて本当に良かったと思う。（ちなみに、今回の研修で使われた感動ビデオで、ウチの講師の一人は後ろから見ていてもはっきりわかるほど、号泣しておりました。）

この研修の出席者が感じたお二人の共通点というのは恐らく、「コーチング」や「感動ビデオ」などを通じてエモーショナルに生徒や保護者に訴えかけていくということであったと思う。確かに昨今「感動が人を動かす」などと言われれているように、塾運営において「感動」というのは欠かすことのできないキーワードであろう。（むしろ陳腐化している嫌いすらあり、最早差別化にもつながらないのかも知れない。）しかし、今回改めて感じたのは、どんな方法を使うのであれ、それを使う側の「思い」がなければ、決して生徒にも保護者にも「感動」などを与えることはできないということである。お二人から強く感じられたのは、経験を通じて得られたであろう、「生徒・保護者」というより「人」に対する眼差しの温かさであった。

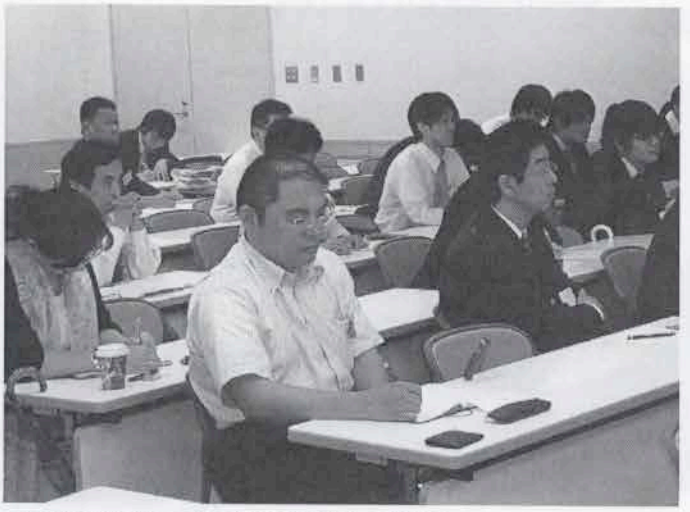
このお二人の講演後に、英・国・数に分かれて、各々が抱える問題なり、方法論なりを共有しあおう！という極めてアバウトな分科会が行われた。これが私の予想に反して（！）かなり有意義な時間となった。ほとんどの参加者から「時間が足りない！」「もっと話させろ！！」という反応を頂いた。塾の先生は話好きが多いということを改めて認識させられたものである。最後にJACの新理事長・長谷川洋夫先生からお言葉を頂戴し幕を閉じた。



今年6月就任のJAC長谷川理事長。私塾ネット会員でもある。

何はともあれ、ご参加頂いた皆様には相当に満足度の高い研修会であったことはアンケート結果からも窺い知ることができ、その点では成功裡に終えることができた。ただ、もう少しうまく運営していれば、この素晴らしい時間をより多くの皆様と共有できたのでは？と思うと正直悔いも残る。今後、またこの様な機会があればと切に願う次第である。

（と思っていたら、何と！今回と同内容で１２月にJACで研修が行われることとなりそうです。ご参加頂ける方がいらっしゃれば是非お知らせ下さい。）



真剣なまなざしでメモをとる受講生の皆さん。

長江副理事長と仲野講師とのやりとりに会場もなごむ。

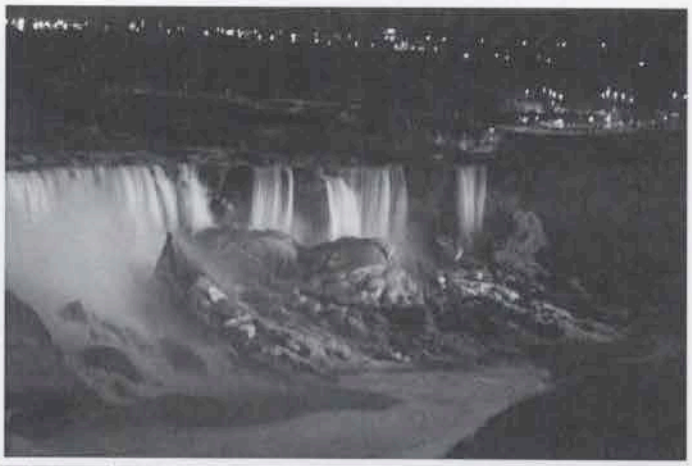
＜感動を歌に換えて＞

城忠道（エリア中国・芸城学院）

五十年近く塾とともに歩んできた我が人生も着々とゴールに向かって歩を早めてきているようです。そんな残りの少なくなった人生を「ここらで自由気ままに生きたい」と考えて数年前より職員に「のれんわけ」の形で塾を独立させ整理してきました。これまで好きな旅行も仕事の延長として職員とともに国内の名勝地や名山を訪ねてきましたが、この整理により自由な時間も取れ、念願の海外旅行にも出かけることができようにました。

まずはかねてから行きたいと思っていたカナダ。憧れのカナディアンロッキーへの旅でした。
初めての海外とあって期待と不安の入り混じった旅でしたが、天候にも恵まれ期待通りのロッキーに会えることができ、至福の時間を過ごすことができました。

その想い出をいつまでも大切にしたいと考え旅の様子を曲にし、写真のＢＧＭとし整理しました。その一部分を載せてみます。
「よくやるよ」とお思いでしょうが後が少なくなっている関係上この厚かましさご容赦ください。



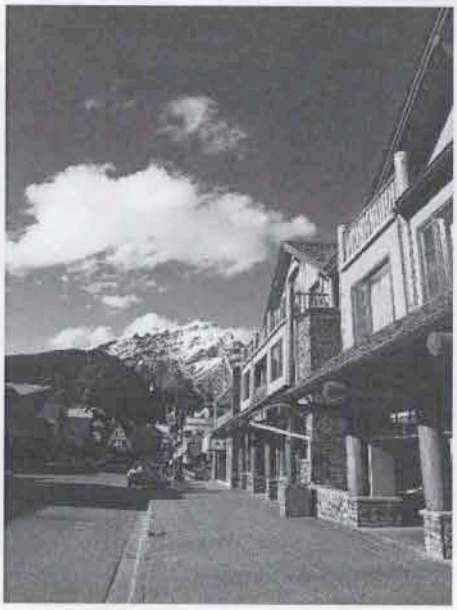
カナダの旅

二人で夢見てきた　この素敵な国へ
こうして訪ねてきて　心ときめく
夜空にとどろく　ナイヤガラの滝が
カクテルライトに　妖しく浮かぶ

明日は待ち望んだ　美しい湖に
出会える喜びに　心も躍る
折からの雪が　高まる思いを
冷やしてレイクルイーズの　夜が更ける

次の日空は晴れて　ロッキーの山々が
雪で化粧をして　雄姿を見せた
息を呑むこのパノラマに　過ぎ行く時を
忘れて　バンフの町に着く

素晴らしいこの自然と　素晴らしい人たちとの
過ごしたこの幾日々が　今も胸に残る
旅して出会えた　いくつもの思い出は
きっと我が人生の　花になる



(Photos by Jo)

エリア通信

エリア東北　代表　畑山　篤（青森県・志学塾）

『メンタリングは今秋にも予想される新型インフルエンザ第２波対策の切り札？』

神戸新聞(2009/06/06)「新型インフルで休校、半数がストレス　兵庫高校調査」

（詳細は→http:/www.kobe-np.co.jp/rentoku/shakai/ inflenaza09/0001993062 .html）を読みました。大阪、兵庫、京都、滋賀など今春の感染で被害に遭われた地域の皆様にはこの場を借りて心よりお見舞い申し上げます。

さて、どこまで広がるのだろうかなどと連日の報道を気にしていた私ですが、情けないことに気温の上昇と共に徐々に危機意識が薄れてきています。そんな折、中小企業庁の「中小企業BCP策定運用指針」（詳細は→http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/ ）を知りました。読んでみると（１）今秋の新型感染症の大流行によりスタッフの大半が出社できなくなった場合や（２）学校が休校になり行政から外出や集会の自粛が打ち出された場合にどうしますかと書いてあります。

確かに１週間や２週間の授業であれば、冬の長期休暇の際に振替授業も可能かもしれませんが…。１ヶ月以上という最悪の場合を想定したら…月謝は？そもそも月謝に関わらず家賃等の月々の経費は？…支払わなければならないのでは…等々。私は指針を読みながら今から何を用意すべきかを真剣に考えてしまいました。私には難解な文章でしたが、何とかこの中企庁「中小企業BCP策定運用指針」を読み進めることにしました。

読んでみると「緊急事態に備え、事業継続のための事前の取り決めを考えてみませんか」とありました。「事前の取り決め」…なんかサラ金のＣＭを思い出してしまいますが、よく読めばポイントが５つあるようです。

■事業継続のための５つのポイント■（自塾用に表現は多少アレンジしました）

①優先して継続・復旧すべき「中核事業」は何か、特定しておく。

②緊急時における中核事業の「目標復旧時間」を定めておく。

③緊急時に提供できるサービスのレベルについて「ご家庭と予め協議」しておく。

④事業拠点や「授業形式、サービス提供等の代替策」を用意しておく。

⑤全ての従業員と事業継続についてコニュニケーションを図っておく。

なるほど、事前の取り決め、事前の協議は、いざとなったときに功を奏するかもしれません。少子化のこのご時世、1ヶ月程の操業停止に耐え得る資金の事前確保は困難を極めますが、大家さんに「当該１ヶ月分は１０ヶ月分割で」とか、ご家庭に「当該月謝は１０ヶ月割引で」とか"取り決め"ておくのは、事業継続には善手！ではないでしょうか。さらに緊急時に提供できるサービスのレベルについて「ご家庭と予め協議」しておけば、まさに"備えあれば憂いなし"と意を強くしました。

学校閉鎖、学級閉鎖になっても罹患率から考えて、元気に自宅で待機する子ども達の方が多いこととなります。特に受験生を持つご家庭など、自宅でも塾のように受験に専念できることを望むのでは。「提供できるサービスのレベルとして、つきっきりの個別指導や一斉授業は出来ませんが、自宅でもやる気向上！学習量増大！の代替策がありますので、継続して指導にあたらせて下さい」とご家庭と予め協議できれば良いかもしれません。

代替策は各塾の大きなポイントであり、各塾の事情と歴史にもよりますが、①インターネットの普及アンケート②メルアド登録（ＰＣ＆携帯、インターネットＴＶも可能かどうか）③予め有料自習室で料金が取れる風土を築く④今夏から自学自習コースを設置⑤学習机スクールセットの有料貸出登録⑥メンタリングの実施　以上６項目を私なりに勝手に考えてみました。中には笑止千万とおしかりを受ける項目もあるかもしれませんが、皆さんの地域の緊急事態の際に事業継続の備えのお役に少しでも立てれば幸いです。

※尚、メンタリング（Mentoring）とは、指示や命令によらずメンター（Mentor）と呼ばれる指導者が、対話による気づきと助言により受講生の自発的・自律的なやる気を促す方法です。小塾(志学塾)では島根県立隠岐島前高校３名を青森県八戸市からメンタリングの方法で受験指導しています。

エリア関東　代表　仲野十和田（東京都・ナカジュク）

７月７日、七夕の満月の夜、中３の娘を引き連れて、サントリーホールへ行ってきました。平林一之先生（JKK）の友人、小田全宏さんが出演するチャリティーコンサート「花咲けドリームコンサート」があると、お誘いを受けたのがきっかけです。家庭の事情で親と一緒に暮らせないこどもをディズニーランドへ招待する活動を行っている団体への寄付が目的とのことです。心安らぐ女性歌手のオープニングで幕開けし、第２部は小田氏の講演＆フルートコンサート。小田氏は、東大を卒業後、松下政経塾に入塾。幸之助翁指導の下、一貫して人間教育を研究された方です。テーマは『あなたの夢のスイッチをONにする』。自身の学生時代経験した悲しいだろう？思い出を、おもしろおかしく話したと思ったら、３０年ぶりに４５歳から始めたフルートでコンサートができるまでになった話。『夢は小さいも大きいもない。そして、夢を持った時点で、

回りの人に言い続けること。恐らく回りの人は相手にしてくれないと思うけど、それを一番聞いているのは、“自分”なんです』

余談ですが、その後『あなたの夢を隣の人に４５秒で語ってください。そして、聞いている人は何も言わず深く頷いてください』と。私は娘に向かって、「お前と、ピアノ＆ギター　リサイタルをする」と言うと「絶対無理。ありえない。」と娘から…。私は「絶対言い続けてやる！」と思っています（笑）。

小田氏『夢を持つことは、それを達成することも大事だが、それに向かっていく過程で様々な方との出会いや協力が生まれ、そこに幸せな気持ちが宿る。それはもう夢をつかんでいることですよ』

『夢』を語り実現している大人が身近にいることが、子どもたちへ如何に元気と勇気を与えることができるか！ひしひしと感じたコンサートでした。

エリア中国　代表　北川健治（広島県・栄光プレップ）

７月９日木曜日、午前１０時より１２時３０分の時間帯で、私塾ネット中国は定例会を福山で開催いたしました。７月は例年福山で開催するようになっていますが、今回は昨年リニューアルした若竹塾の本部教室の訪問見学も兼ねての開催でした。佐藤代表、高橋塾長に教室内を隅々まで案内していただきました。出席者は北川、山口、城、平岡、田中弘、上原、西本、西川、林の各先生。まず、最初に当日九州福岡から駆けつけていただいた学研教育事業本部の植本室長より、がっけんサイエンススクールのプレゼンテーションをしていただき、採用塾の運用の現場を紹介していただき、メンバーが質問するという形で、新たな生徒募集の切り口を研修いたしました。引き続き今回のメインテーマである「わが塾を語る」と題して、若竹塾の高橋先生より、現在の若竹塾の様子、夏期講習会の戦略についてお話がありました。特に、今年の夏、若竹塾は隣県岡山氏笠岡市において若竹塾福山教室主催の出張夏期講習会をすることになった経緯背景が紹介されました。小学４年から６年を対象にしての、テスト会を積み上げての計画です。いきなりの新規開校ではなく、じっくりじっくり戦略を立てての佐藤代表、高橋先生の経営戦略に質問が相次ぎ、その質問を通して、福山地区の同業他塾の動向はもちろん中高入試の実態、学校の様子の情報を実地で取り込めました。最後に、城先生より本年の忘年会について大綱が発表されました。本年度は全面的に「癒しとくつろぎ」を出し、ゆったりするものにしようとのこと。次号で詳しくお知らせする予定です。

エリア中部　湯けむりの会レポート

湿ったオブラートのような半透明の空気に包まれた周りの木々、もう十分に練習をつんだのだろうと思わせる透き通ったウグイスの声、淡い湯けむりのはるか向こうに俯瞰されるほのかな街の灯・・・・私たちを迎えてくれたのは、そんな旅情あふれる温泉宿でした。

久しぶりの「湯けむりの会」が開催されたのは、六月二十八日（日）。所は甲府市郊外、武田神社から北に進むこと車で一〇分ほど、緑濃い山あいに深く入り込んだ、まさに秘湯の積翠寺温泉「坐忘庵」。長野から松本、原、三松の三名、東京からは鈴木理事長を迎えて行われました。

「湯けむりの会」第一部は懇談会。学習塾界を覆うさまざまな問題に対してどのような対応をしているか、それぞれの塾を取り巻く現状を具体的に出し合いながら、ざっくばらんに語り合いました。

また、話は個々の健康面にまで及びました。生徒のため、保護者のために身を粉にして奔走する日々にあって、皆、体のどこかに変調をきたしてきています。次第に出てくるそれら体の変調とどのように付き合い、どう対処しているのかを出し合い、互いの参考としました。

続く第二部は懇親会。家庭や家族のこと、趣味、某先生（参加者の一人）が最近建てた大邸宅（?）の話など、プライベートな内容盛りだくさんでした。皆、大いに食べ、大いに飲み、大いに笑って日頃の疲れを吹き飛ばしました。

その後はゆっくりと温泉につかってリラックス。少しぬる目の露天風呂では、ライトアップされた竹林と湿り気を帯びた緑の木立を愛でながら、語ることも忘れて時の流れるに任せました。

その夜は第二部の流れを汲んで深夜まで語り、心地よい眠りにつきました。

翌朝は梅雨時と思えぬ好天となり、皆で武田神社に参拝。宝物館で武田氏ゆかりの品々を見ながら歴史の重みを感じた後、再会を約束してそれぞれの帰路につきました。

（レポート　エリア中部　三松寿幸）

左からエリア中部松本代表、鈴木理事長、三松先生、原先生

エリア四国　代表　寺嶋謙次
（香川県・学習院セミナー）

以前ブログに掲載のあった話で割りと評判の良かったものを紹介させていただきます。

ある大学でこんな授業があったという。
「クイズの時間だ。」教授はそう言って、大きな壺を取り出し教壇に置いた。その壺に、彼は一つ一つ岩を詰めた。壺がいっぱいになるまで岩を詰めて、彼は学生に聞いた。「この壺は満杯か？」
教室中の学生が「はい」と答えた。
「本当に？」そう言いながら教授は、教壇の下からバケツいっぱいの砂利をとり出した。そしてじゃりを壺の中に流し込み、壺を振りながら、岩と岩の間を砂利で埋めていく。
そしてもう一度聞いた。「この壺は満杯か？」
学生は答えられない。一人の生徒が「多分違うだろう」と答えた。
教授は「そうだ」と笑い、今度は教壇の陰から砂の入ったバケツを取り出した。それを岩と砂利の隙間に流し込んだ後、三度目の質問を投げかけた。
「この壺はこれでいっぱいになったか？」
学生は声を揃えて、「いや」と答えた。
教授は水差しを取り出し、壺の縁までなみなみと注いだ。彼は学生に最後の質問を投げかける。
「僕が何を言いたいのかわかるだろうか」
一人の学生が手を挙げた。
「どんなにスケジュールが厳しい時でも、最大限の努力をすれば、いつでも予定を詰め込む事は可能だということです」
「それは違う」と教授は言った。

「重要なポイントはそこにはないんだよ。
この例が私達に示してくれる真実は、大きな岩を先に入れないかぎり、それが入る余地は、その後二度とないという事なんだ。君たちの人生にとって"大きな岩"とは何だろう。」と教授は話し始める。
「それは、仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家庭であったり、自分の夢であったり…。ここで言う"大きな岩"とは、君たちにとって一番大事なものだ。それを最初に壺の中に入れなさい。さもないと、君達はそれを永遠に失う事になる。もし君達が小さな砂利や砂や、つまり自分にとって重要性の低いものから自分の壺を満たしていけば、君達の人生は重要でない「何か」に満たされたものになるだろう。そして大きな岩、つまり自分にとって一番大事なものに割く時間を失い、その結果それ自体失うだろう。」

教育の地域貢献が少しでもできればと毎日ブログの更新をしています。ぜひ、一度訪れてみてください。（www.toshinzms.com）

各部報告

渉外部報告　　渉外部長　佐藤勇次（東京・調布学園）

①　全日本学習塾連絡会議

1、平成21年度(2009)『私塾・私学・企業　教育ネット要覧』≪第9集≫の発行と配布

（1）日　時：6月10日(水)／10：00－15：00
（2）会　場：調布学園（全日本学習塾連絡会議事務局）
（3）出席者：伊藤、佐藤（あおき印刷）
　　佐藤（『『教育ネット要覧』』編集長）
　　菅谷（『『教育ネット要覧』』副編集長）
（4）内　容：平成21年度(2009)『私塾・私学・企業教育ネット要覧』≪第9集≫の発行（B5判・302頁・2720部発刊）と全国60学習塾団体と協賛広告協力127社への『教育ネット要覧』発送作業

2、第90回 全日本学習塾連絡会議
第30回 私立中高進学相談会 第1回 実行委員会

（1）日　時：7月9日(木)／10：00－12：00
（2）会　場：アットビジネスセンター
　　東京駅八重洲口駅前「貸会議室」2F
（3）出席者：25名
（4）内　容：①10：00－10：15　第15回 全日本学習塾連絡会議「世話人会」
　　②10：15－11：00　第30回 私立中高進学相談会（担当＝NPO塾全協進学対策局長 稲葉秀雄）
　　③11：00－12：00　第90回 全日本学習塾連絡会議（担当＝事務局長佐藤勇治）
　　・各団体の行事予定発表
　　・『教育ネット要覧』≪第9集≫の発刊報告
　　・「学習塾の歴史100年史」「私塾団体の歴史50年史」「私塾ネット設立10周年記念誌」～各団体代表＋私塾ネットメンバーによる記念誌事業推進委員会／記念誌編纂委員会の発足について

②　社団法人学習塾協会

1、平成21年度 通常総会

（1）日　時：6月7日(日)／13：00－15：30
（2）会　場：アイビーホール青学会館（渋谷「表参道」青山学院大学トナリ）
（3）出席者：本人出席30名＋委任状出席314名
　　合計344名
（4）内　容：社団設立20周年記念誌『 絆 きずな 』編集委員長（佐藤勇治）報告抜粋（協会ニュース6月22日発行より）

①伊藤政倫会長ご挨拶～20周年記念誌『 絆 きずな 』の発行に際しましては、編集委員長の佐藤勇治先生、ならびに副編集長の菅谷友豊香先生にひとかたならぬお骨折りをいただきました。おかげさまで立派な記念誌ができまして、お二人のご努力が結集したものであると思います。お二人を中心とした皆

様のご苦労が後世に語り継がれるものと確信しております。

②主な質疑として、出席者の谷村志厚氏は、佐藤勇治20周年記念誌制作委員長より報告のあった当該委員会収支計算書の支出額と総会議案書の収支計算書の20周年記念誌事業の支出額の差額について説明を求めました。増田敏財務委員長は当該差額について、記念誌制作までに係る支出以外に、荷造運搬費、通信費、臨時傭役費等、制作後の発送作業等に要した支出を算出計上している旨、説明があり、総会後あらためて明細を報告することになりました。

２、記念誌事業の支出額の差額について

（１）日　時：6月25日(水)／13：00－14：10
（２）会　場：東京駅　八重洲地下「コーヒーラウンジ」
（３）出席者：稲葉秀雄専務理事、佐藤勇治編集長、菅谷友豊香副編集長
（４）内　容：6月19日(金)稲葉秀雄専務理事が調布学園に来られる。記念誌収支計算書の資料を持参し、佐藤勇治編集委員長に説明する。佐藤編集長は資料をもとに、作成委員会としての最終報告書を作成し、6月25日(木)稲葉専務理事に説明して、専務理事の了承は得ました。

佐藤編集委員長作成の報告書より一部のみ抜粋

結果として、420,939円の黒字であるにもかかわらず、「その他」事業と一括処理されていたため、赤字決算となっていました。

収　入	－	編集委員会作成支出	＝	収支(黒字決算)
5,030,500円		4,609,561円		420,939円

③ NPO法人 学習塾全国連合協議会

１、NPO 塾全協主催「中高入試を考える会」

（１）日　時：5月17日(日)／16：30－18：30
（２）会　場：私学会館「アルカディア市ヶ谷」
（３）出席者：100名（私立学校の先生方、私塾団体・学習塾・教育関連企業の方々）
（４）内　容：テーマ「改革のうねりを迎えて　パート2」
講師　森上展安氏（森上教育研究所）
岩佐桂一氏（教育調査研究所所長）
穴澤嘉彦氏(新教育研究協会営業部次長)
岡上栄一氏（総進図書営業部）
後半は、上記4名の先生によるパネルディスカッション
司会進行はNPO 塾全協　全国事務局の菅原明之氏

④ NPO法人 全国教育ボランティアの会

１、平成21年度(2009)第10回 通常総会

（１）日　時：6月14日(日)／14：00－16：00
（２）会　場：調布市市民プラザ「あくろす」
3F「会議室2」
（３）出席者：本人出席8名＋委任状提出者22名
合計30名（会員34名。出席率88％）
かに顧問の中嶋浩一先生がオブザーバーとして参加されました。
（４）内　容：議　事
①第1号議案　平成20年度事業報告
②第2号議案　平成20年度決算報告
③第3号議案　平成20年度監査報告
④第4号議案　平成21年度事業計画案
⑤第5号議案　平成21年度予　算　案
⑥その他（文部科学省後援事業について／新任監事について）、議長に副理事長 松本紀行氏(チャレンジ学院)、議事録署名人に広報部長 加藤　実氏(綜合教育研究会)、事務局長 佐藤勇治氏を選出し、すべての議案が満場一致で承認されました。なお、平成21年度(2009)の監事は安藤進理氏、監物一男氏、木村正史氏の3氏が選任されております。

２、調布市　第20回「生きいきワクワク体験・親子の集い」

（１）日　時：7月12日(日)／10：00－18：00
（２）会　場：調布市市民プラザ「あくろす」
2F「はばたきホール」「会議室1」
3F「調理室」「研修室2」「研修室3」
（３）出席者：300名（先着申込み順・締切り）
（４）内　容：①手作りコンニャクを作って田楽とさしみコンニャクで食べよう
②絵あわせ四次魔方陣
③天才カメ君レース
④中嶋教授の楽しい天文教室

⑤ 塾教育研究会

１、故稲垣里志氏を追悼する会

（１）日　時：6月21日(日)／17：00－21：00
（２）会　場：①17：00－19：00　追悼する会
「銀座ルノワール」第5会議室（6丁目店）
②19：00－21：00　懇親会「入母屋」
(7丁目　銀座ライオンビル4F)
（３）出席者：20名　司会　江川文英氏
（４）内　容：ＪＫＫの機関誌「響　ひびき」への故稲垣氏の投稿をめぐって、資料作成　梶原賢治氏
B5判・47頁の小冊子（追悼集）

⑥ 全日本私塾教育ネットワーク

１、私塾ネット関東＆ＪＡＣ拡大研修会

（１）日　時：6月21日(日)／13：30－17：30
（２）会　場：中央大学駿河台記念館　2F
（３）出席者：30名
（４）内　容：講　演
仲野十和田先生（私塾ネット関東代表）
佐久田昌知先生(千葉学習塾協同組合副理事長)

２、「学習塾の歴史　百年史」「私塾団体の歴史　五十年史」「私塾ネット設立十周年記念誌」
第1回　記念誌編纂委員会

（１）日　時：7月4日(土)／10：00－12：00
（２）会　場：新宿駅東口「滝沢」（喫茶室）
（３）出席者：菅谷友豊香、鈴木正之、仲野十和田、石川維雪、渡邊　浩、佐藤勇治
（４）内　容：佐藤勇治編集長より、記念誌の概要、協賛広告（浄財）お願いの段取り・完成までのスケジュールの説明（7月9日の第90回 全日本学習塾連絡会議にて詳細を公表、全国の私塾団体にご協力をお願いします）

私塾ネットセンター　事務局通信

事務局長　石川維雪

皆さんお元気でしょうか？　事務局の石川です。夏休みが始まり、夏期講習に忙殺されていらっしゃることと思いますが、体調に十分お気をつけいただき、ご活躍ください。

さて、先の代表者会議でも決定されました「私塾ネット10周年記念行事」がいよいよ始動しました。7月4日に記念誌作成のための準備委員の会合があり、記念誌については以下のように決定しました。

・作成の総指揮は佐藤勇治先生が取り、菅谷友豊香先生はじめエリア関東のメンバーがお手伝いする。

・私塾ネットの10年史だけでなく、私塾業界全体の100年史、塾団体の50年史の位置付けで、大掛かりな書籍とする。（予算300～400万円、すべて浄財で賄う）

・上記を実現するため、私塾ネットだけでなく他の私塾団体にも協力を呼びかけ、塾業界の支持をいただく。そのため作成は全日本学習塾連絡会議とし、社団法人全国学習塾協会の後援をもらう。

・作成の実行部隊は、私塾ネット10周年記念行事準備委員会とする。

上記内容が、7月9日の全日本学習塾連絡会議の席上で佐藤先生から発表されました。

その後、出席各団体の長の先生方からお一人お一人コメントをいただきましたが、皆さん「全面的に協力する」との発言で、その場で協力を取り付けることに成功しました。

予算は300～400万円とのことですが、集まった浄財の範囲で作成し、赤字は出さない書儀で行きたいとの、佐藤先生の決意でした。なお、記念誌作成は、独立会計で行います。

佐藤先生の出版物の集大成となる書籍になります。皆さんにもいろいろとご協力をお願いすると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

話は変わりますが、以下の先生方が新たに仲間に加わりました。詳細は次号で。

【エリア四国】パスカル数理ゼミ　守安大樹先生
岡山県倉敷市

【エリア四国】稲伸ゼミナール　山本幸男先生
香川県仲多度郡多度津町

【エリア近畿】栄光塾　杉山信良先生
大阪府柏原市

閑話休題

編集長　谷村志厚

これほど心身ともに疲労した一ヶ月は経験がない。おかげで体重が3キロ減である。ダイエットに悩むメタボ親父としては適当な試練かもしれない。それにしても今回の騒動では、私塾ネットの皆さんをはじめ、塾仲間の方々の支援に感謝したい。貴重なアドバイスと温かい励ましを頂戴した。現段階では公にできないことが多いので詳細の報告は差し控えるが、このことについては、今後の参考のために後日「顛末記」をお届けしたいと思う◆さて、この号がお手元に届くころには、各塾とも夏期講習に突入であろう。今夏の集まりはどうであろうか。当塾では先の事情により、夏期講習のチラシ募集を停止した。過去20年で初めてのこと、一抹の不安はあるがいたしかたない処置であろう。しかしながら捨てるものあらば拾うものありで、口コミの問い合わせが昨年以上に多い。3，4月の募集期がさっぱりであったので、これは首都圏大手塾もおしなべてそのようだが、6月あたりから動くのではないかと予感していた。どうやらそんな気配が続いている◆「捨てるもの…」の文言を入力していてふと思いだしたことがある。今回の件で失意の真っただ中にあった６月半ばのできごと。ある飲食店にいたとき、店内に掛けられた色紙の短歌に目がとまった。いわく「失いてまた得る物もありぬべし月の満ち欠けあるを思えば」。どこかで目にしたことのある一首である。あれこれ思いめぐらすも詠み人が思いあたらない。それともこの店の親父の作か？ともかくもこの一首がその時の小生の心の中にすとんと納まった。腑に落ちるというやつである。信用を失い、プライドを失い…そんな中にあって、「…また得るものもありぬべし…」と達観すれば、まず人としての「自信」だけは失わないようにしよう決心がついた。「人間万事塞翁が馬」であり「雨降って地固まる」であろう。結婚式のスピーチ定番の人生３つの坂ではないが、「まさか」の「坂」に音をあげている場合ではないという開き直りである。そんなことがあって以来、なにやら運が開けてきた気配が…。ところで先の「失いて…」の一首、出展は何か？博学なお方教えてください◆このところ謹慎蟄居の身ゆえ外出が少ない。７月第１週の土曜日、２週間ぶりに電車に乗り東京に出向いた。塾関連の集まりはご法度だが私事は許されるであろうと出かけたのが、大学のサークル同窓会である。１０数年ぶりに旧友と顔を合わせ「アラカン世代」の愚痴をこぼしあった。これまで毎年お誘いをうけるも、きまって塾界のイベントや授業日程が重なり機会を失っていたのだが、手足をもがれた現状でようやく願いが叶った。皮肉なものである。それともう一つのきっかけが、５月の福山の研修会で懇意になった若竹塾のＴ先生である。彼は小生と同じ趣味をお持ちのようで、どうやらそれを嗅ぎつけたらしく懇親会の席で話し込むこととなった。その結果大学の同窓の後輩でもあることが判明し大いに盛り上がった。その後席上で約束をされた貴重な音源を送ってこられた。当方もこれに応えてお返しをしたのだが、はたして楽しんでいただけたか。こんなことに刺激をうけたものだから、その共通の趣味の根源であるサークルの同窓会に顔をだす決心がついたのである。出会いというものはありがたいものだ。で、その共通の趣味とは？それはご想像におまかせしておこう。

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校　村山ｻﾝﾄﾞﾗ先生
東京都渋谷区本町3-2-2　TEL03-3376-2244

江戸川学園取手中学高等学校　竹澤　賢司先生
茨城県取手市西1-37-1　TEL0297-74-8771

十文字中学高等学校　卯木　幸男先生
東京都豊島区北大塚1-10-33　TEL03-3918-0511

東洋高等学校　野間　一夫先生
東京都千代田区三崎町1-4-16　TEL03-3291-3824

桜丘中学高等学校　品田　健 先生
東京都北区滝野川1-51-12　TEL03-3910-6161

聖徳大学附属中高等学校　川並　芳純先生
千葉県松戸市秋山600　TEL047-392-8111

麹町学園女子中高等学校　大野　博人先生
東京都千代田区麹町3-8　TEL03-3263-3014

春日部共栄中学　宇野　禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213　TEL048-737-7611

大成高等学校　森　保　先生
東京都三鷹市上連雀6-7-5　TEL0422-43-3196

東京学園高等学校　須藤　勉　先生
東京都目黒区下目黒6-12-25　TEL03-3711-6641

東京立正中学高等学校　藤井　教戒先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15　TEL03-3312-1111

八雲学園中学高等学校　横山　孝治先生
東京都目黒区八雲　2-14-1　TEL03-3717-1196

関東第一高等学校　副田　康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11　TEL03-3653-1541

武蔵野中学高等学校　丹野　秀彦先生
東京都北区西ヶ原4-56-20　TEL03-3910-0151

神田女学園中学高等学校　齋藤　元治先生
東京都千代田区猿楽町2-3-6　TEL03-3291-2447

和洋国府台女子中学高等学校　太田陽太郎先生
千葉県市川市国分4-20-1　TEL047-371-1120

東京文化中学高等学校　上前　善勝先生
東京都中野区本町6-38-1　TEL03-3381-0196

文京学院大学女子中学高等学校　嶋田　栄司先生
東京都文京区本駒込6-18-3　TEL03-3946-5301

京北学園中学高等学校　実方　隆志先生
東京都文京区白山5-28-25　TEL03-3941-6253

大森学園高等学校　河嶋　正　先生
東京都大田区大森3-2-12　TEL03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校　増澤　文徳先生
東京都北区豊島8-26-9　TEL03-3911-2786

日本工業大学駒場中学高等学校　河村　文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32　TEL03-3467-2130

青稜中学高等学校　笠松　芳幸先生
東京都品川区二葉1-6-6　TEL03-3782-1502

東京女子学園　実吉　幹夫先生
東京都港区芝4-1-30　TEL03-3451-6523

駒込中学高等学校　河合　孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25　TEL03-3828-4141

愛国中学高等学校　高橋　英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1　TEL03-3658-4111

日本橋女学館中学高等学校　羽田野　敦先生
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6　TEL03-3662-2507

安田学園中学高等学校　福谷　隆芳先生
東京都墨田区横綱2-2-25　TEL03-3624-2666

多摩大学目黒中学高等学校　福本　明男先生
東京都目黒区下目黒4-10-24　TEL03-3714-2661

科学技術学園高等学校　船津　和良先生
東京都世田谷区成城1-11-1　TEL03-5494-7711

日本音楽高等学校　中野　道代先生
東京都品川区豊町2-16-12　TEL03-3786-1711

立正中学高等学校　今田　正利先生
東京都品川区大崎4-2-16　TEL03-3492-4416

上野学園中学高等学校　高橋公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12　TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校　舘野　宏　先生
東京都千代田区九段南2-1-32　TEL03-3261-9288

村田女子高等学校
村田学園小石川女子中学校　武　雅祐先生
東京都文京区本駒込2-29-1　TEL03-5940-4187

自由学園（中等部・高等部）　椚田　結子先生
東京都東久留米市学園町1-8-15　TEL042-422-3111

帝京中学高等学校　奥野　英治先生
東京都板橋区稲荷台27-1　TEL03-3963-4711

京華学園　今野　巌　先生
東京都文京区白山5-6-5　TEL03-3941-6493

千代田女学園　菅原　俊軌先生
東京都千代田区四番町11　TEL03-3263-6551

(株)パイロットコーポレーション　辻　豊様
東京都中央区京橋2-6-21　TEL03-3538-3782

(株)教育企画ティーファイブ　山田　孝幸様
東京都品川区北品川1-22-17-104　TEL03-5479-7061

(株)創開コミュニティー　小林　和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202　TEL04-7164-6511

ギガビジョン株式会社　櫻井　淳二様
東京都千代田区九段北1-4-5　TEL03-3237-5861